

令和4年度（第61回）農林水産祭

「優秀農林水産業者に係るシンポジウム」（トップリーダー発表会）

【美しい棚田 稲倉 ～眺めるだけではない、カカワレルタナダ～】

《スケジュール》

13:30～16:00

（敬称略）

- | | | | |
|---|------------|--|-------------------------|
| 1 | 開 会（13:30） | 公益財団法人 日本農林漁業振興会 常務理事 | 小栗 邦夫 |
| 2 | 挨拶 | 農林水産省関東農政局長 長野県上田地域振興局長 上田市市長 | 信夫 隆生 柳沢 由里 土屋 陽一 |
| 3 | 選賞審査報告 | 農林水産祭中央審査委員会むらづくり分科会主査 （茨城大学農学部教授） | 福与 徳文 |
| 4 | 業績発表 | 令和4年度むらづくり部門天皇杯受賞 稲倉の棚田保全委員会 委員長 " 事務局次長 | 久保田 良和 玉崎 修平 |

・・・休憩（14:30～14:40）・・・

- 5 ディスカッション（14:40）
（登壇者）
- ・コーディネーター
福与 徳文（3に同じ）
 - ・業績発表者
久保田 良和（4に同じ）
玉崎 修平（"）
 - ・コメンテーター
畠山 智之（農林水産祭中央審査委員会むらづくり分科会委員
（NHK放送研修センター日本語センターエグゼクティブアナウンサー））
小谷 あゆみ（農林水産祭中央審査委員会むらづくり分科会委員 フリーアナウンサー）
土屋 陽一（上田市市長）
内川 義行（信州大学農学部准教授）

（内容）

- ・意見交換、質疑応答
- ・総括

- 6 閉 会（16:00）

令和4年度（第61回）農林水産祭

優秀農林水産業者に係るシンポジウム

美しい棚田 稲倉～眺めるだけではない、カカワレルタナダ～

選賞審査報告

令和5年3月6日

農林水産祭中央審査委員会むらづくり分科会

主査 福与徳文（茨城大学教授）

農林水産祭むらづくり部門 選賞審査概要図

都道府県知事の推薦

- ◆各都府県(沖縄県を除く)は、優良と認められるむらづくりの事例1件を地方農政局宛てに推薦することができる。
- ◆北海道は直接、沖縄県は沖縄総合事務局長を経由して(公財)日本農林漁業振興会理事長宛てに推薦することができる。

注:()内の数字は、各局等管内において推薦できる件数(最大)

| | | | | | | | |
|------------------|------------------|-------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 北海道 沖縄 (2) | 東北局 管内 (6) | 関東局 管内 (10) | 北陸局 管内 (4) | 東海局 管内 (3) | 近畿局 管内 (6) | 中四局 管内 (9) | 九州局 管内 (7) |
|------------------|------------------|-------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|

各地方農政局むらづくり審査会

- ◆都府県の推薦事例について書類審査、現地調査を実施
- ①各ブロック(農政局)ごとに割り当てられている件数の範囲内で農林水産大臣賞を決定
- ②各ブロック(農政局)ごとに決定された農林水産大臣賞の中から最優良事例1件を決定

注:【 】内の数字は、各農政局ごとに割り当てられている農林水産大臣賞の件数。

①(農林水産大臣賞受賞事例の決定)

| | | | | | | |
|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 東北局 管内 【3】 | 関東局 管内 【3】 | 北陸局 管内 【1】 | 東海局 管内 【1】 | 近畿局 管内 【2】 | 中四局 管内 【3】 | 九州局 管内 【3】 |
|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|

②(最優良事例の決定)

| | | | | | | |
|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 東北局 管内 1 | 関東局 管内 1 | 北陸局 管内 1 | 東海局 管内 1 | 近畿局 管内 1 | 中四局 管内 1 | 九州局 管内 1 |
|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|

農林水産祭中央審査委員会

むらづくり分科会

都府県

地方農政局

中央審査委員会と分科会の役割

農林水産祭中央審査委員会

むらづくり分科会

- ◆北海道・沖縄ブロックの推薦事例を審査し、農林水産大臣賞候補(1件)を決定
- ◆各ブロック(農政局)ごとに決定された最優良事例(各1件)及び北海道・沖縄ブロックの農林水産大臣賞候補(1件)の中から、天皇杯等三賞候補となる事例(3件)を選定
- ◆天皇杯等三賞候補の事例(3件)の現地調査を行い、天皇杯等三賞候補の分科会案を決定

中央審査委員会第2回総会

- ◆北海道・沖縄ブロックの農林水産大臣賞(1件)を決定
- ◆天皇杯等三賞(天皇杯、内閣総理大臣賞及び日本農林漁業振興会会長賞):各1件)を決定



天皇杯



内閣総理大臣賞

日本農林漁業振興会
会長賞

農林水産本省

令和4年度むらづくり分科会の経緯

第1回分科会 (7月26日)

現地調査 (3回)

第2回分科会 (9月12日)



京都府南丹市 (8月23日)



長野県上田市 (8月26日)



新潟県小千谷市 (8月30日)

選賞審査基準

- むらづくりのための自主的な努力と創意工夫の状況
- むらづくりの合意形成の状況
- むらづくりの推進体制の整備・運営の状況
- むらづくりの地域農林漁業の振興とその担い手の育成への寄与状況
- むらづくりの豊かで住みやすい農山漁村の建設への寄与状況

令和4年度農林水産祭むらづくり部門 農林水産大臣賞受賞事例・位置図

中国・四国ブロック

11 小豆島町中山棚田協議会
 地域ぐるみで棚田を守る。
 そして、世界に向けて
 棚田の魅力発信!!
 (香川県 小豆郡小豆島町)

12 (株)日吉産地
 自然と人をつなぐ 扇の要
 日吉産地 ~この地を舞台に
 人が主役のむらづくり~
 (愛媛県 北宇和郡鬼北町)

13 汗見川活性化推進委員会
 誰もが帰って来なくなる
 みんなのふるさとを作っていく
 (高知県 長岡郡本山町)

近畿ブロック

9 早崎町自治会
 びわ湖と共存した
 暮らし・農地・環境は、集落で守る
 (滋賀県 長浜市)

【内閣総理大臣賞】
10 下集落支援事業委員会
 長寿を目指す里・下
 ~生きがいを持ち健康で
 明るく暮らすむらづくり~
 (京都府 南丹市)

内閣総理大臣賞

北海道・沖縄ブロック

1 特定非営利活動法人 やくもげんき村
 福祉と交流を柱とした
 笑顔で活気あふれるむらづくり
 (北海道 二世郡八雲町)

東北ブロック

2 農事組合法人しみず
 農地を守り、地域の農業・農村を
 次代につなぐ
 (青森県 弘前市)

3 日向コミュニティ振興会
 ささえあいから花開く日向
 (山形県 酒田市)

**4 奥会津金山赤カボチャ
生産者協議会**
 奇跡のカボチャを町の至宝へ!
 (福島県 大沼郡金山町)

関東ブロック

5 閑援隊
 より暮らしやすいカンマを目指した
 地域活性化の活動
 (栃木県 佐野市)

【天皇杯】
6 稲倉の棚田保全委員会
 美しい棚田 稲倉
 ~眺めるだけでなはない、
 カカワレルタナダ~
 (長野県 上田市)

天皇杯

北陸ブロック

【日本農林漁業振興会会長賞】
7 (株)Mt.ファームわかとち
 超進化への道標
 ~むらに笑顔と活力を取り戻す!
 (新潟県 小千谷市)

日本農林漁業振興会会長賞

東海ブロック

8 農事組合法人ひじきファーム
 地域農業の維持発展へ
 ~農地を守り、地域に活力を~
 (三重県 伊賀市)

九州ブロック

**14 JAあまくさ女性部
大矢野総支部**
 地域を想う心が生み出す
 行動力とチームワーク!!
 (熊本県 上天草市)

15 大人発電農業協同組合
 再生可能エネルギーで
 地域の宝を未来へ
 (宮崎県 西臼杵郡日之影町)

16 荃永地区自治公民館
 古から未来へつなぐむらづくり
 (鹿児島県 熊毛郡南種子町)



- 農林水産大臣賞受賞事例のうち、
- : 天皇杯受賞
 - : 内閣総理大臣賞受賞
 - : 日本農林漁業振興会会長賞受賞

稲倉の棚田保全委員会【評価ポイント①】

自主的な努力と創意工夫／地域農林漁業の振興

減農薬栽培を行い、昔ながらの「はざかけ」でゆっくり**天日干し**した**棚田米**は、豊かな香りとやさしい甘みがあり、地元店舗や直売所等で販売されるほか、上田市のふるさと納税返礼品として取り扱われている。

棚田保全の人手と資金を支えるため**棚田オーナー制度**を導入し、地元酒造会社と連携した**酒米オーナー**や気軽に保全活動に参加できる「棚田ファン」等消費者ニーズに合わせたコースを新たに展開し、会員は年々増え(令和4年度 133組)、特に都市住民の増加が著しく、都市農村交流の拠点となっている。



稲倉の棚田米



棚田オーナー



酒米オーナー

稲倉の棚田保全委員会【評価ポイント②】

豊かで住みやすい農山漁村の建設／担い手の育成

農閑期の棚田を活用した**棚田キャンプ**や、代掻きに合わせて子供たちが棚田で遊ぶイベントなど、棚田の景観・地形を活かした体験・交流の機会を創り出している。令和2年度からは、松明を持って練り歩く参加型イベント「**ししおどし**」を開催し、地域の新たな伝統行事としての定着に努めている。棚田への観光客は、令和元年度には年間2万人を超え、新たな観光資源になっている。

上田市が整備した**滞在型市民農園**の**指定管理**を受託しており、農作業指導や棚田を利用した地域交流を通して、将来的には地域への移住・定住や農業の担い手育成の効果も期待される。

首都圏や地元小学校からの**学習旅行**や**農作業体験**を受け入れ、棚田をビオトープとして活用し、生物多様性を学ぶ授業の実施など、農業・農村への理解醸成に寄与している。



棚田キャンプ



ししおどし



滞在型市民農園における営農指導



小・中学生の農作業体験

稲倉の棚田保全委員会【評価ポイント③】

推進体制の整備・運営／合意形成

棚田保全委員会は、地元住民や他の地域団体の代表などで構成され、**定例会を毎月開催**し、農作業計画や交流による地域活性化につながる各種取組方針を議論し、**合意形成**している。

平成30年からは**委員の外部募集**を始め、関東圏の都市住民や子育て世帯等の非農家層が加わり、構成員の幅は広がりを見せている。



棚田保全委員会のメンバー



会議の様子

棚田保全が地域の防災（多面的機能の一つ）につながることを、強く意識されている。



〈稲倉の棚田〉

農林水産祭「むらづくり部門」天皇杯受賞

～眺めるだけじゃない、カカワレルタナダ～

稲倉の棚田保全委員会

稲倉の棚田 その歴史と営み

稲倉の棚田は、江戸時代に開田されたものと言われるが、畦畔に数箇所ある6～7世紀頃の横穴式古墳が、太古からこの地に人々の営みがあったことを示しており、その歴史の中で棚田が築かれたと考えられる。

川を挟んで両側に水田が広がる形状は全国的に珍しく、谷間に寄り添うよう穏やかに連なる姿は、自然を尊重し共生してきた日本の心象風景である。



保全活動について

平成11年の「日本の棚田百選」認定を契機に地元有志が集い日々の保全活動を開始する。地域住民だけでは困難な状況から平成18年に棚田オーナー制度を導入、学校課外学習体験などを進める。

さらに貴重な農業資産を守る活動を全国に先駆け取組み始める。様々な団体と連携し、農閑期に田んぼ内でキャンプを楽しむ棚田CAMP、岡崎酒造との協力体制による酒米オーナー制度など、さらなる顧客満足度の向上を目標に活動する。





棚田オーナー制度 ～棚田米・酒米～

稲倉の棚田は、棚田オーナー制度を実態に合わせて少しずつ内容を見直している。現在、棚田米オーナーおよび酒米オーナーの受入れを行うが、参加者のご希望と効率的な運営体制を両立しつつ、オーナー数の増加を実現している。

棚田米オーナー 3つのプラン

オーナーは「グループで自分達の田んぼを持ちたい」「小さい子供に少し体験させたい」など多岐にわたり、意向に合わせて3つのプランを用意する。

【棚田エリアオーナー】

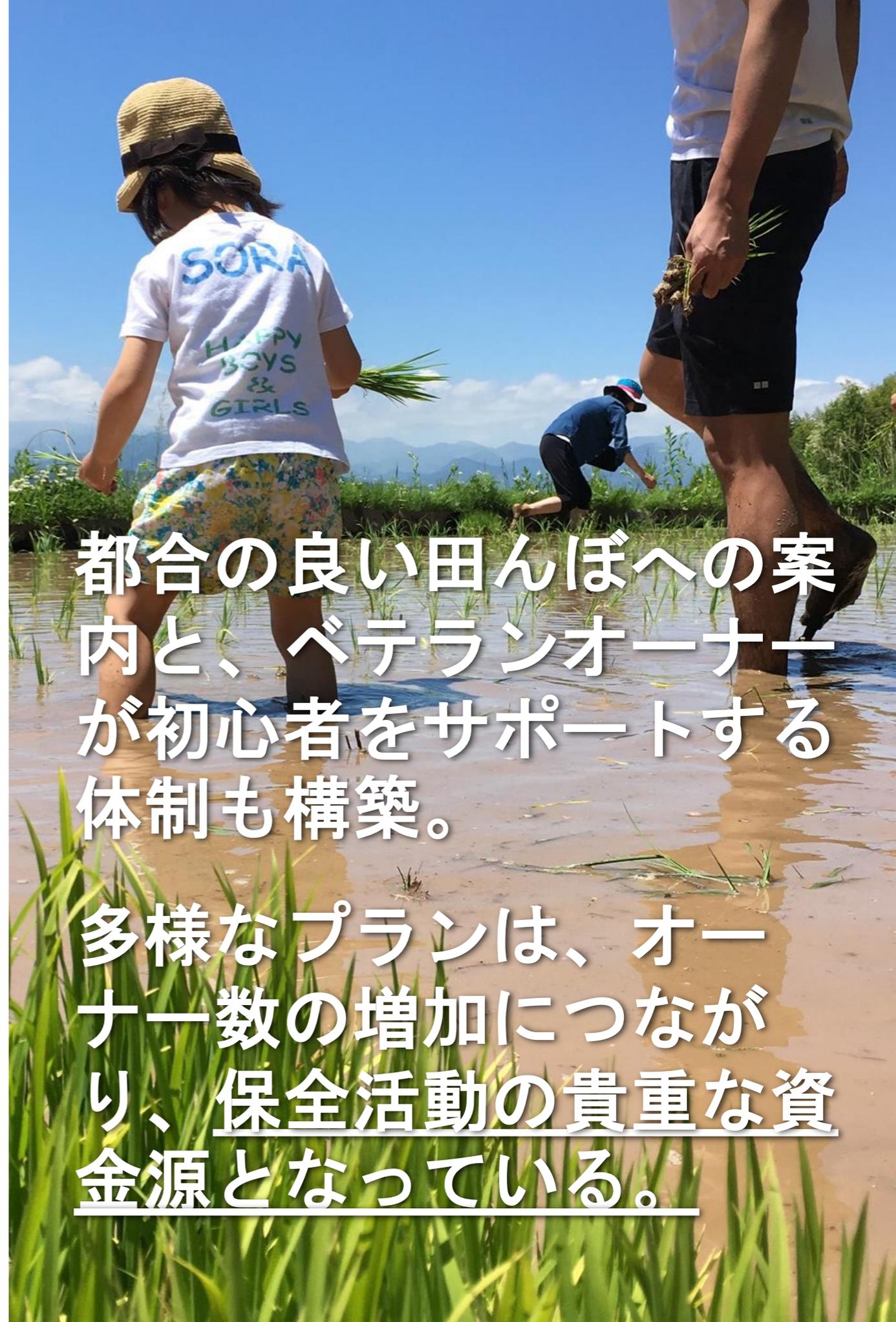
占有の田んぼを割り当て、収穫米もその田んぼで育てられたお米を提供します。仲間内で取れたお米をいただける喜びと一体感がある。

【棚田サポーター】

作業日程が一緒になった者同士で協力し、その日の都合に合った共通の田んぼで作業体験します。互いに交流が図れる。

【棚田ファン】

少しだけ作業体験してみたい、気持ちだけ協力したい方に2合パック×3個のお米と自由参加の作業体験をご案内する。



都合の良い田んぼへの案内と、ベテランオーナーが初心者をサポートする体制も構築。

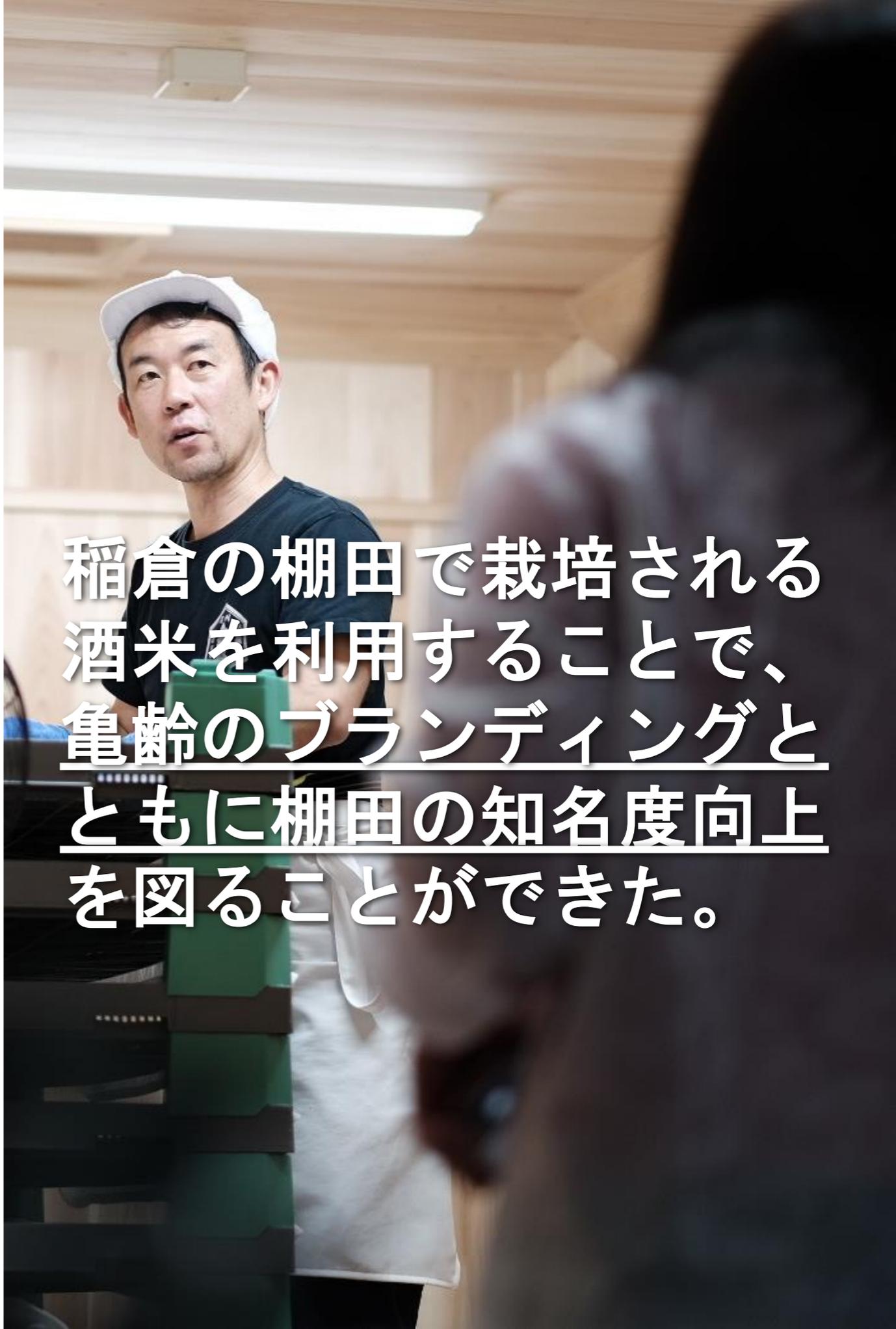
多様なプランは、オーナー数の増加につながり、保全活動の貴重な資金源となっている。

酒米オーナー ブランディングと保全

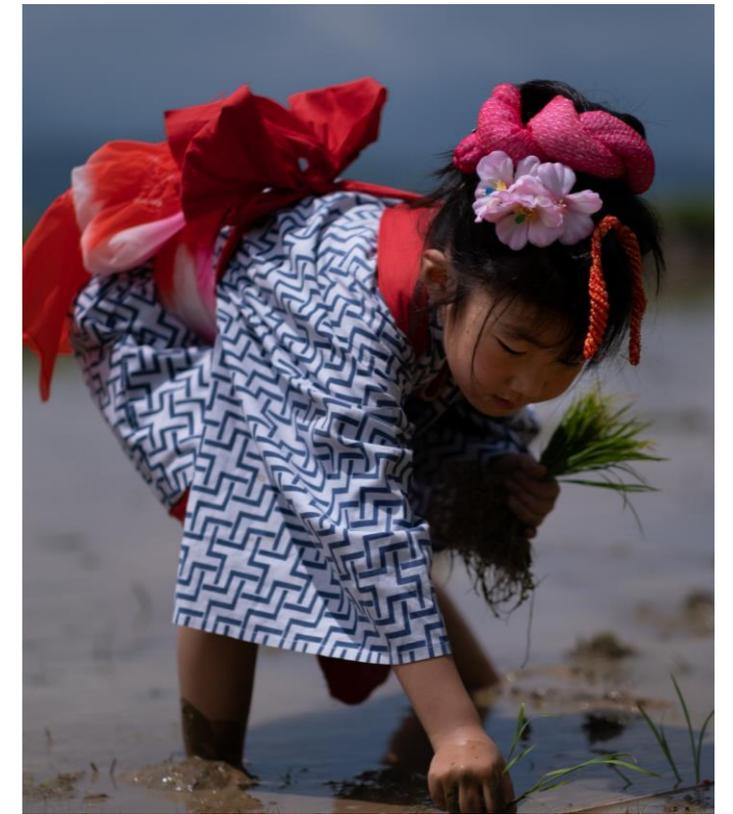
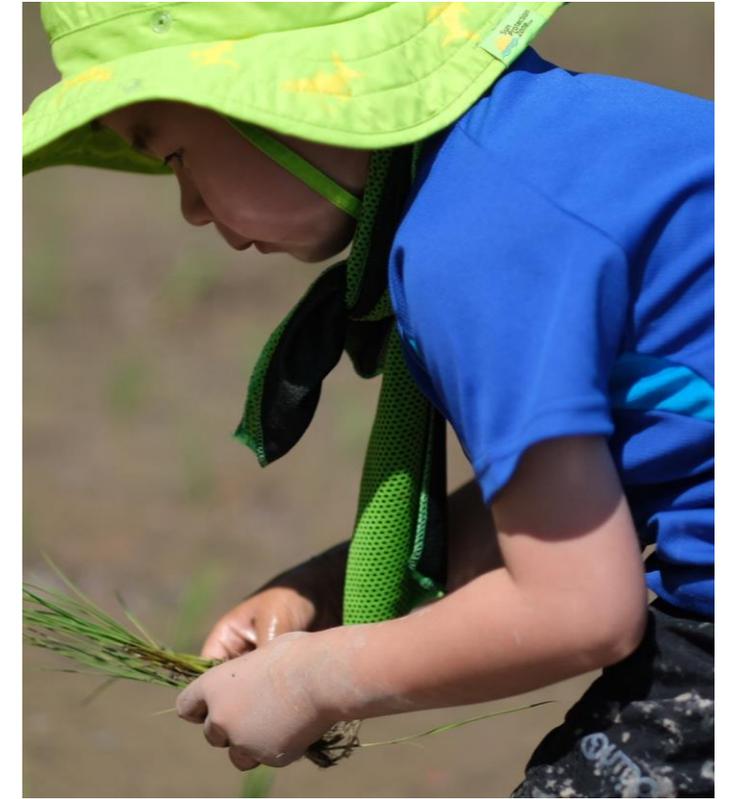
稲倉の棚田で農作業体験し収穫された酒米を上田市柳町にある岡崎酒造の協力により醸された、搾りたて無濾過生原酒「亀齢」をいただける制度である。

【酒米オーナーの特典】

- ・ 収穫した酒米を専用瓶に瓶詰め体験できる。
- ・ 全国的に大人気の岡崎酒造杜氏と交流できる。
- ・ 「信州亀齢 稲倉の棚田産ひとごち純米吟醸」を一般販売前にいただける。



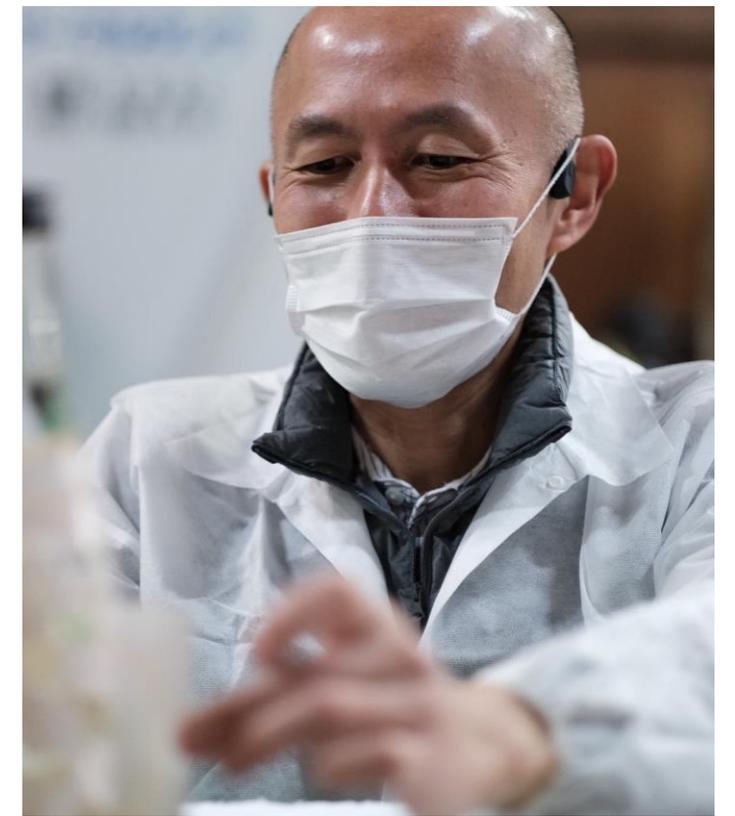
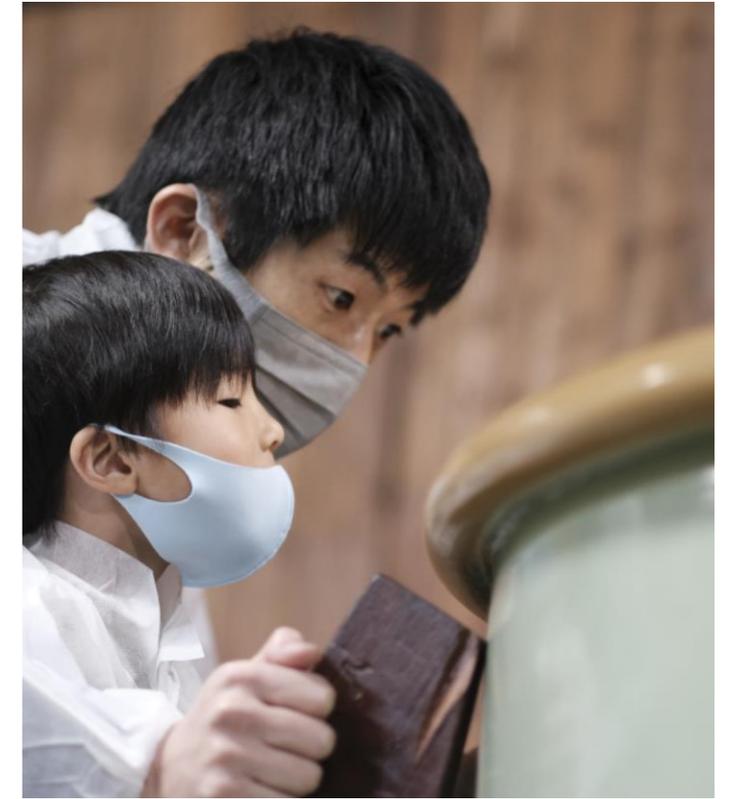
稲倉の棚田で栽培される酒米を利用することで、亀齢のブランディングとともに棚田の知名度向上を図ることができた。



田植え体験



稲刈り体験



酒米オナー一瓶詰め体験

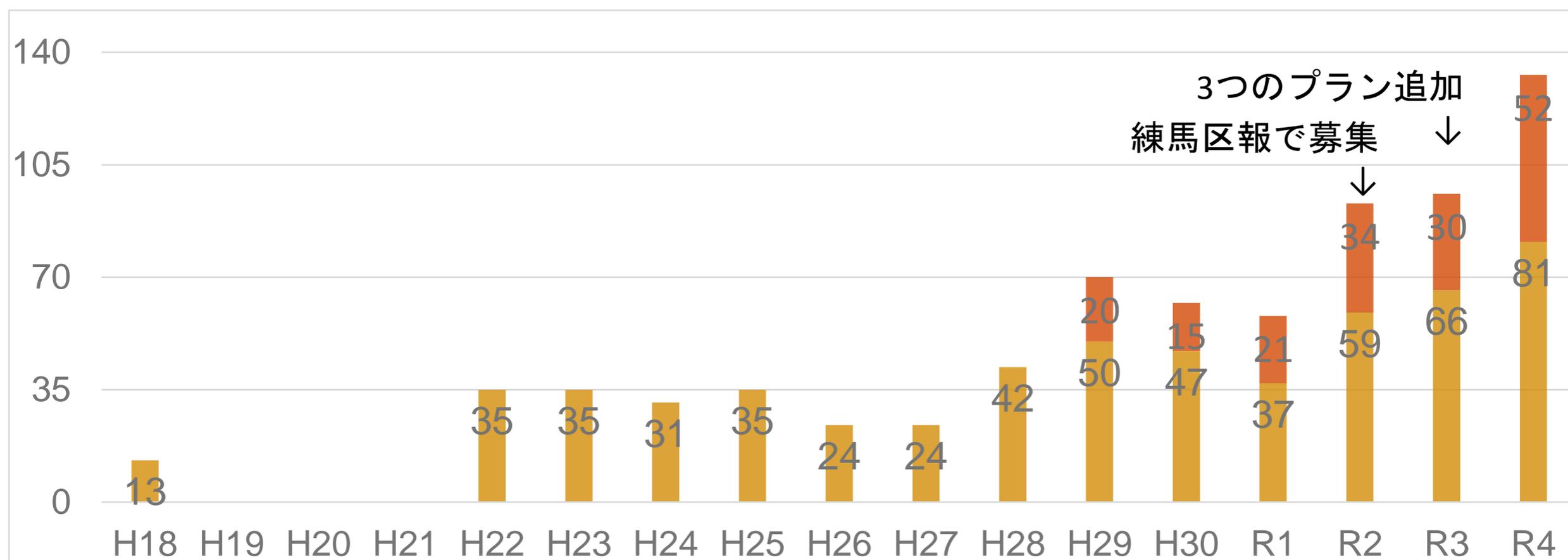
棚田オーナーの推移

| | H18 | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 |
|----------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 棚田米オーナー | 13 | ? | ? | ? | 35 | 35 | 31 | 35 | 24 | 24 | 42 | 50 | 47 | 37 | 59 | 66 | 81 |
| 酒米オーナー | | | | | | | | | | | | 20 | 15 | 21 | 34 | 30 | 52 |
| オーナー合計組数 | 13 | ? | ? | ? | 35 | 35 | 31 | 35 | 24 | 24 | 42 | 70 | 62 | 58 | 93 | 96 | 133 |
| オーナー合計人数(4人/組) | 52 | ? | ? | ? | 140 | 140 | 124 | 140 | 96 | 96 | 168 | 280 | 248 | 232 | 372 | 384 | 532 |

H18年度から棚田米オーナー開始

H29年度から酒米オーナー開始 (H28年度末より募集)

※酒米オーナーは抽選による組数制限あり





ししおどし祭り

お盆の時期、人々が松明を持ちライトアップされた棚田を練り歩く光景は幻想的。“しし神よ、帰りませ、田の神よ、守りませ”との掛け声とともに五穀豊穡と獣害低減を願う祭りとして令和2年度より開催する。

眺める“ほたる火”から カカワル“ししおどし”へ

ししおどし祭りは香川県小豆島の中山千枚田で行われる害虫駆除祈願の「虫送り」を参考に協力いただき、稲倉の棚田が新たな解釈を提示する形で開始。

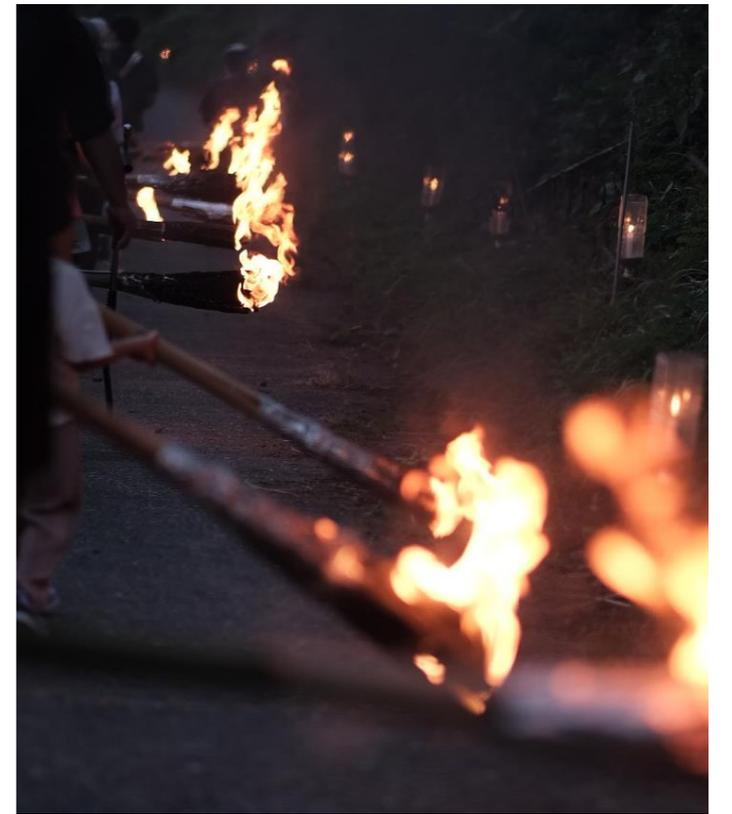
以前までは保全委員が設置したほたる火を観光客が眺めに訪れる行事だったが、棚田オーナーおよび地元小学校関係者向けに自ら参加いただく祭りとした。コロナ禍の情勢と駐車場の関係により有料限定イベントとして開催している。



令和4年度 竹提灯作りの体験

小さいお子さんにも安心して練り歩きができるよう、松明に替わる竹提灯（ちょうちん）を追加。点火式までの間に竹提灯を作る体験コーナーを設け好評だった。



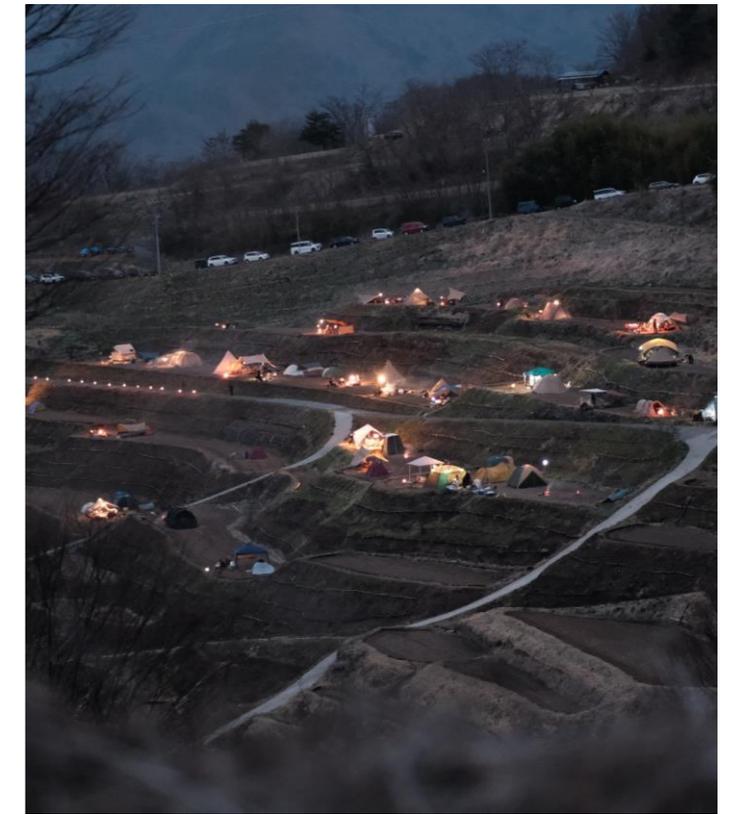


ししおどし祭りの様子



棚田CAMP 農閑期の新たな景色

棚田の中でテントを張りキャンプを楽しむイベントを企画。農閑期における棚田の有効活用と農業生産性とは異なる新しい体験事業として稲倉の棚田より開始、今では全国で多くの棚田地域に広まる。



棚田CAMPの様子

棚田CAMPから 新たなつながりへ

棚田CAMPの開催により、棚田に訪れるきっかけが多様化しアウトドア業界など多方面から取材される事になった。

また参加者は30～40代と従来の棚田愛好者に比べ年齢層が若く、新たな人材として棚田オーナーへの申込み、お田植祭でのコンサート協力、法政大学・長野大学・信州大学、信州ハム株式会社との関係性構築などにつながった。



Campin'稲倉の棚田 通年キャンプへ

棚田CAMPのイベント成功を契機に通年棚田を眺めながらキャンプしたいとの要望を踏まえ、宿泊型農業体験エリアとして楽しめる場を造成。

エリア内の畑で収穫される野菜やハーブをキャンプ参加者に提供し、その場で調理いただく。

【貸切サイト】

東屋・ウッドデッキを利用可能。また駐車横付けが可能であり、大人数で利用できる。

【テントサイト】

木チップが敷き詰められたサイト。十分なスペースを保ち並列して4サイトを確保する。





Campin' 稲倉の棚田の様子

泥んこASOBI (公開予定)

5月より開始する代掻きは、水を張った田んぼの土を掻き混ぜ止水と土を平滑にする作業である。

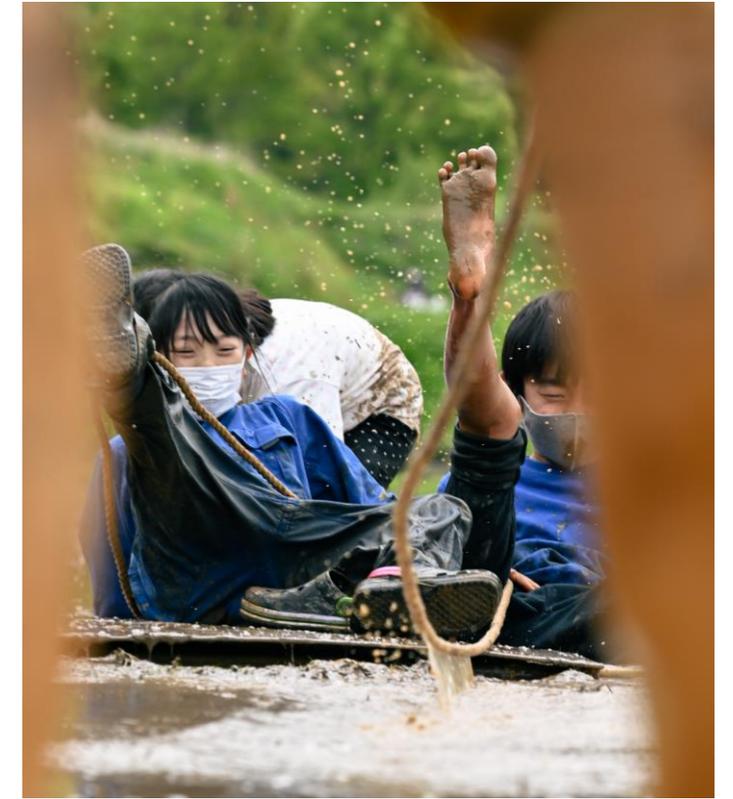
稲倉の棚田では、田んぼ内の雑草を手作業で取る作業が非常に大変であり、代掻きは雑草が生えてくるのを抑制する効果として重要。

子供たちに泥んこ遊びをしてもらいながら、一緒に代掻き効果もお願いする体験事業。





泥んこかけっこ



ロープすもう

焼き芋FIRE

棚田の仕事も一段落した晩秋に、焚火などしたことがない子供たちを招待して、焚火で焼き芋体験を行う。

令和3年度にクラウドファンディング返礼開催の好評をきっかけに、令和4年度に第1回を開催。

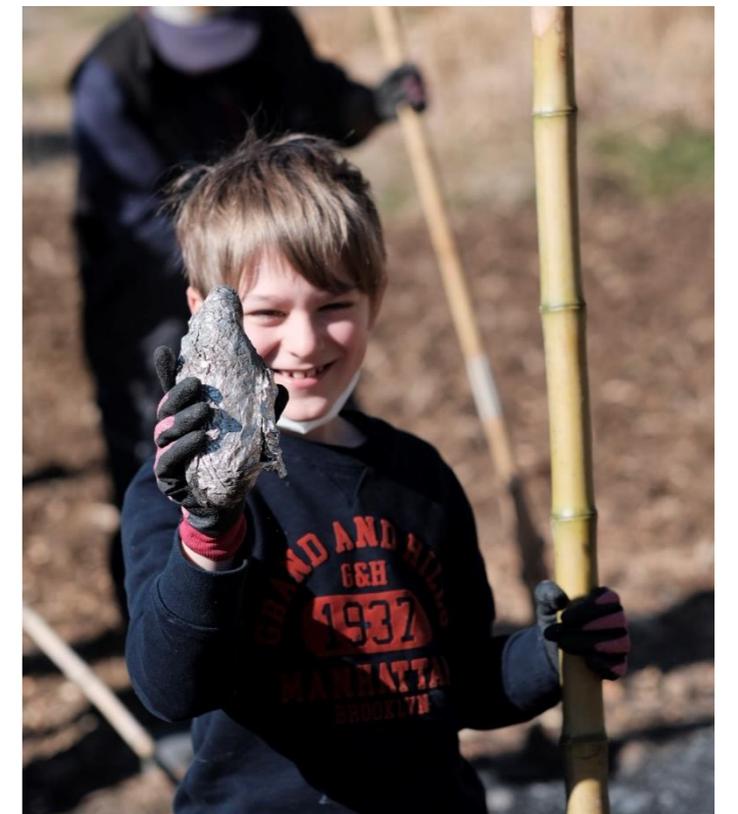
焼芋が出来あがるまで棚田を走り回り凧あげを楽しめた。

今後も参加者の様子と声を拾い上げ、さらに充実していく。





大人も一緒に楽しむ様子



子どもたちの笑顔



ビオトープ& ネイチャーゲーム

栽培中無農薬の棚田における生態を把握するため長野大学の協力をもとに環境調査を始める。また、棚田内に造成したビオトープ池を中心に体験授業を開始した。

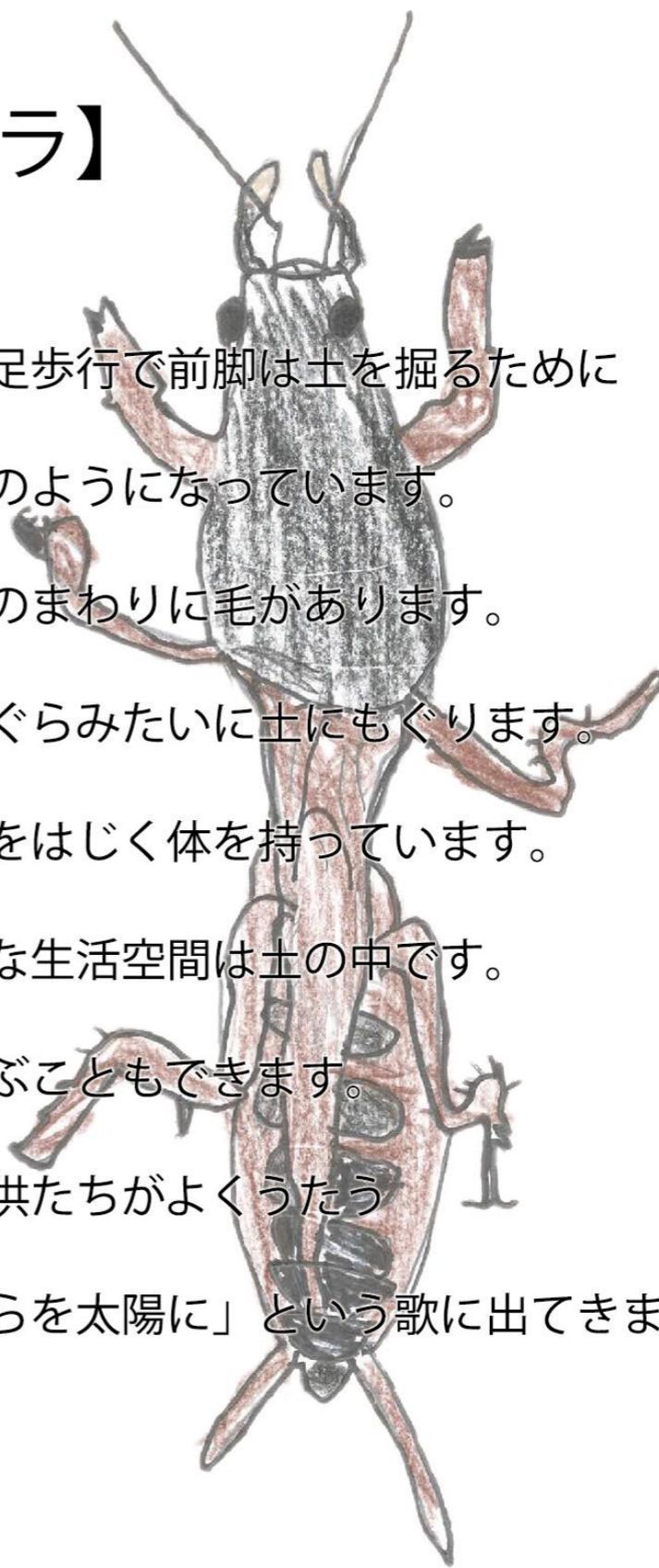
ビオトープ& ネイチャーゲーム

令和3年度の地元小学校3年生が理科の授業開始に合わせた課外学習の場として棚田に訪問。1年間の授業成果として、ネイチャーゲーム「ノーズ」で使用するヒントカードを棚田で観察した生物を題材に製作した。

【ネイチャーゲーム】

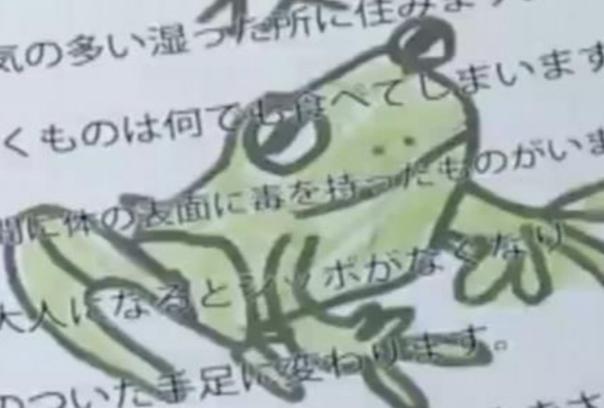
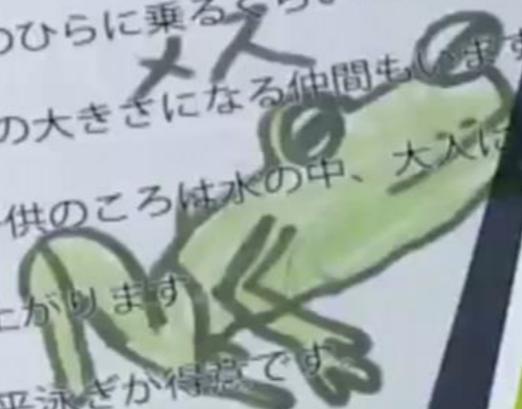
「楽しさは学ぶ力であること」を念頭に自然と触れ合い、そこで友だちの考え方に気づき、つながることのよろこびを感じてもらおう活動として公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会が推進する。

【オケラ】

- 
- ① 私は、4足歩行で前脚は土を掘るためにシャベルのようになっています。
 - ② 私は、口のまわりに毛があります。
 - ③ 私は、もぐらみたいに土にもぐります。
 - ④ 私は、水をはじく体を持っています。
 - ⑤ 私は、主な生活空間は土の中です。
 - ⑥ 私は、飛ぶこともできます。
 - ⑦ 私は、子供たちがよくうたう

「手のひらを太陽に」という歌に出てきます。

【カエル】

- 
- 
- ① 私は、水気の多い湿った所に住みます。
② 私は、動くものは何でも食べてしまいます。
③ 私は、仲間に体の表面に毒を持ったものがあります。
④ 私は、大人になるとシッポがなくなり
水かきのついた手足に変わります。
⑤ 私は、手のひらに乗るくらいの大きさが
両手一杯の大きさになる仲間もいます。
⑥ 私は、子供のころは水の中、大人は
陸にも上がります。
⑦ 私は、平泳ぎが得意です。

令和3年度

イナグラ

稲倉の棚田にいる 生物あてゲーム

Hint Cards



監修：稲倉自然探求会
長野大学 満尾世志人